



Title	国民健康保険課に勤務して思うこと
Author(s)	大西, 聖子
Citation	大阪公衆衛生. 2009, 80, p. 32-33
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/83426">https://hdl.handle.net/11094/83426</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 会員の声

## 保健所の管理栄養士として

高槻市保健所保健総務課 松浦 史絵

私は高槻市保健所で管理栄養士として勤務して4年目を迎えています。公衆衛生業務の中で、私は栄養部門においての仕事を主にしています。高槻市は平成15年に中核市となり、同じ年から高槻市保健所として現在の保健所が生まれました。まだまだ若い保健所ですが、様々な温かい協力や職員の努力で少しずつながら高槻市らしさを持った保健所に成長していくべくがんばっているところです。

私の仕事は、給食施設において利用者の方々へ栄養管理の行き届いた食事を提供するための支援や飲食店に栄養表示を勧めたり、国民健康・栄養調査といって実際のお食事の調査をしたりと「食」を中心として様々な角度からアプローチし、市民の皆さんに健康になっていただくお手伝いをしています。公衆衛生の大きな目的が皆が健康で安全に心豊かに暮らすための支援ではないかと考えた時、それを「食」から発信していくことが私の務めだと考えています。私は昔から食べるのが好きだったので、多くの人たちに食べる楽しみを味わっていただきたいと思っています。そのためには健康であることが

必要です。「栄養管理された料理はおいしくない」と思われがちですが、実際そうではないということ、そうならないためにどれだけの人が努力しているのかを伝えて、正しい知識を当たり前身に付けていただけるにはどうしたらいいのか？ということを考えています。今の「食育」といった言葉に繋がることかもしれません。今はわざわざ「食育」といった言葉を使いますが、きっと昔は当たり前のように食育が行われていたはずで、社会環境や文化の変化など現在の日本を作り上げた原因は様々だと思いますが、「食べる」ということはずっと続いていく人間の営みです。この誰にとっても身近である「食」に関わる仕事ができることを私は幸せに思いますし、誇りに思います。この仕事を通して様々なことを学ぶことができますし、いろいろな人に出会うこともできますし、基本にあるこの「食」というものの奥深さに何度も感心するばかりです。私はこの仕事を通して、健康でいつまでもおいしい「食」を堪能できる人生を一人でも多くの人が送れたらいいなあと思っています。

## 国民健康保険課に勤務して思うこと

大阪府健康福祉部国民健康保険課主査 大西 聖子

私は平成19年4月から、国民健康保険課で初めてでかつ1人の専門職として「特定健診・保健指導」の担当をしています。平成20年から保険者に義務付けられた特定健診等実施計画の策定とそれに基づいた「特定健診・保健指導」の円滑な実施に向けた保険者支援が主な仕事です。また当課は、「大阪府医療費適正化計画」の所管課でもあり、計画の柱の一つである生活習慣病対策を、効果的な特定健診・保健指導の実施により推進し、結果として中長期的に医療費の伸びの抑制を図ることが求められます。

これまで、行政保健師の働く場の多くが衛生部門でしたが、今般の医療制度改革に伴って「保険」部門に保健師が配属され、その保健師には保険料や医療費といった新たな側面から保健業務を見直す機会が与えられました。私はこれまでに「保険」部門へ異動・兼務となった保健師から不満の声を聞いたことがなく、その配置が保健師にとってもメリットがあったのだと理解しています。私も今、衛生部門から外へ出て、国保という立場で衛生の保健業務を見てみると、事業の根拠やその評価の部分における弱さを実感します。それは、保健師と同様に府

民の健康について真剣に考え、府民のために結果を出すことへの責任の重さについて、当課の事務職の方々から学ばせていただいた結果と思っています。

今回の特定健診・保健指導では、健診受診率を高め、保健指導対象者を的確に抽出し、相手に沿う・相手の自己決定を促すといった保健師本来の力に科学的根拠を加えた「結果の出る」保健指導を行うことが求められています。これは捕らえ方によっては大きな負担ですが、一方でこれまで明らかにできなかった「保健指導の効果」を示し、「予防」という仕事ができる

専門職であることを示す絶好のチャンスでもあります。実施計画策定のため実施した現状分析の情報も有効に活用し、これまでできなかった保健師の専門性を是非、明らかにしていただきたいと思います。一方で、保健師がその専門性を発揮するには、ポピュレーションアプローチとの連動が必須です。そのために当課は健康づくり課と連携し、保険者が地域の特性を生かしながら、職域とも連携してさらに効果的な取り組みへと発展させていける環境を作っていきたいと考えています。

---

---

## 出版案内

問合せ先：(財)大阪公衆衛生協会事務局

TEL 06-6932-1458 FAX 06-6932-9788

# 「わかりやすい公衆衛生学」

本書は、看護師国家試験の出題基準に準拠し、項目も出題基準に添って記載しており、わかりやすく簡潔な内容となっています。

本書は、看護学校の教科書として作成していますが、熟達の方の便覧にも、市町村での研修にも最適です

著者：大阪府健康福祉部医師他  
頁数：246頁

発行：ヌーヴェルヒロカワ  
価格：2,205円（税込）

# 「地域保健ノート」

本書は、総論で地域保健についての基礎的事項について、各論で保健所及び市町村センターにおける具体的な事業について記載しており、図表や統計資料なども数多く掲載しています。

本書は、保健所や市町村保健センターにおける実習生用テキストとして作成していますが、既に公衆衛生に従事されている方にとっても、地域保健事業を体系的に理解する上で非常に役立つ書です。

著者：大阪府健康福祉部医師他  
頁数：146頁

発行：(財)大阪公衆衛生協会  
価格：1,000円（税込）